

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

## J R 東日本 みどりの窓口 7 割削減

### 要員削減、地域切り捨て、分社化・転籍狙う攻撃



JR東日本は5月11日、2025年までに「みどりの窓口」を7割削減すると発表しました（首都圏231駅、地方駅209駅の設置駅を各70駅程度に削減）。さらに「改札業務と一体運用している地方の小さな駅は無人化も検討」と報じられています。

JRは「すでに自動券売機やチケットレスサービスなど、みどりの窓口以外での販売が拡大」「これからはチケットレスサービス」という形で打ち出しています。

#### 現場の鉄道業務を軽んじるな

切符の廃止してチケットレス化することは重大な問題です。

深澤社長は「駅は切符を売る場所ではない。ビジネスをどう作るかだ」と言って、駅業務を

おとしめ、現場をあきらめさせ、激しい要員削減を受け入れさせようとしています。

大幅な要員削減は、全面的な外注化と分社化・転籍に向けた攻撃でもあります。現場の鉄道業務を軽視し

て、削減し、別会社にすることを許すことにはできません。

同時に、「地方駅は無人化」と打ち出されたように、地域の鉄道を切り捨てるものでもあります。地域の生活にとって鉄道は必要不可欠です。無人駅やワンマン運転化、列車削減は深刻な問題です。

#### ワンマン・駅無人化が安全を破壊

そもそも鉄道は「株主の利益」のためのもではありません。公共交通機関です。その使命を果たしているのは、日々安全を守り列車を運行している現場労働者です。現場労働者をないがしろにすることは絶対に許せません。

3月のダイヤ改でワンマン化を強行した直後に乗客が転倒・骨折する重大な事故が起き、その後もドアに首をはさまれるなどの重大な事態が続いています。ワンマン運転を強行したことが原因です。

駅業務削減や外注化も鉄道の安全を破壊します。コスト削減と利益を優先して、安全や地域の生活を犠牲にすることは許されません。